

# 手縫いで立体マスクを作ろう

コロナウイルスの影響で臨時休校が長引いています。少しずつマスクも買えるようになってきましたがまだまだ値段的に高価なものです。本来授業の中で製作を考えていたマスクですが必要な時に使えることが大切だと思います。制作後は是非活用してほしいと考え課題としました。手縫いでも2時間くらいで完成できます。

## 【準備するもの】

マスク制作キット（マスク1枚分）、裁縫道具（白い糸・糸切りばさみ・裁ちばさみ まち針・ゴム通し）、工作ばさみ、アイロン

1 型紙から自分の作りたいサイズを選びます。



2 工作用のハサミで型紙を切り取ります。



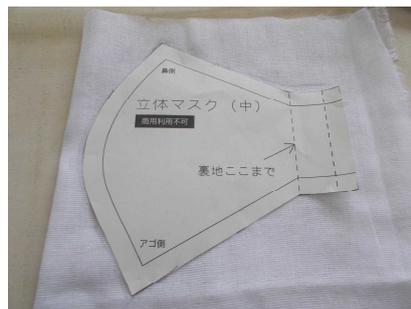
3 ガーゼを広げて準備します。



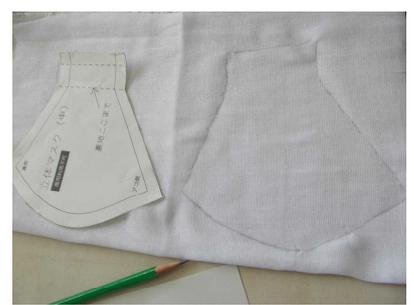
4 ガーゼを半分に折ります。



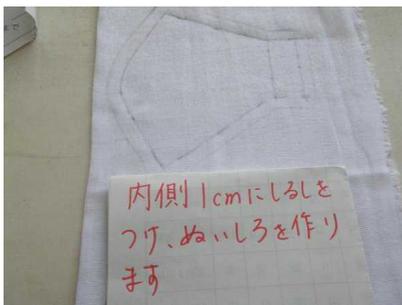
5 型紙をガーゼにあて、しるしをつけます。



6 表布用2枚、裏布用2枚準備します。



7 内側に1cmの縫い代をとります。



8 布を押さえて裁断します。（手に持って切っては×）



9 裏布は表布より短めに裁断します。（型紙参照）



10 表布の鼻からあごのラインを 2枚あわせて 縫います。



11 裏布も同じように縫います。



12 11で縫い合わせた箇所が外側になるようまち針でとめます。



13 縫い目が中心になるよう  
あわせませす。(縫い代が  
開くようアイロンをかける)



14 あわせたとこを縫います。  
しるしが無い場合は内側に  
1 c mの縫い代を書く。



15 両脇からひっくり返し  
ます。



16 ひっくり返した裏布です。



17 両脇の縫い代を内側に折り  
裏布の脇が隠れるまで折り  
まち針でとめます。



18 布端をなみ縫いで縫い  
ゴムを通せば完成です。



◎しるしは鉛筆でつけるとキレイにつけることができます。

◎縫い方はすべて「なみ縫い」です。縫い目の長さは一針 5 m m 以下で縫うこと。  
ミシンがあるならミシンで仕上げても OK です。

◎同じガーゼだと表布と裏布でわかりにくい人は 100 均で売っている布や綿素材の柄付き  
の布などを活用しても OK です。(その場合、柄がある方を内側に折ってしるしをとる  
こと。)

◎できあがった作品は活用してください。自分なりの工夫を加えても OK です。

◎できあがった**作品は前期の成績に反映します**。授業開始後に作品を確認します  
のでなくさず、提出できるようにしてください。

◎マスクキットの作り方も一緒にありますが、立体マスクの方が作り方が簡単だったので  
作り方と型紙を準備しました。動画サイトなどでいろいろなマスクの作り方も載ってい  
ます。自分でやりやすいものを使ってつくってみよう！